

病院概要

開設者名	新潟県基幹病院事業 新潟県知事	
標榜診療科目	総合診療科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、精神科、小児科、消化器外科・一般外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科(※)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、矯正歯科、歯科口腔外科、病理診断科 ※現在診療を行っておりません	
主な診療・実績 (R4年度)	使用許可病床数 (稼働病床数)	一日平均 入院患者数
	一般	400床(362床) 259.8人
	精神	50床(50床) 31.0人
	感染症	4床(4床) 1.06人
	<ul style="list-style-type: none"> ●一日平均外来患者数 832.7人 ●年間手術件数 9,933件 ●年間出産件数 527件 ●医師数 常勤82人 非常勤9.3人 	
医療機関の指定等	DPC標準病院群、厚生労働省臨床研修指定病院(基幹型+協力型)、第二種感染症指定医療機関・結核指定医療機関、新潟県難病医療基幹協力病院、地域災害拠点病院、新潟DMAT指定医療機関、肝疾患診療協力病院(新潟大学医歯学総合病院)、肝炎治療特別促進事業の医療給付に係る指定医療機関、地域救命救急センター、地域周産期母子医療センター、精神科救急医療施設、救急告示病院(三次救急)、医療観察法に基づく指定通院医療機関、エイズ治療拠点病院、日本血友病診療地域中核病院、一次脳卒中センター、重症薬疹診療拠点病院 地域がん診療連携拠点病院 臨床検査室の認定(ISO15189)、新型コロナウイルス感染症患者(疑い含む)受入協力機関、厚生労働省特定行為研修指定研修機関	

稼働病床数

科目	項目	症例数(年度)		
		R2年	R3年	R4年
概要	外来総患者数	187,598	195,335	202,350
	1日平均患者数	772.0	807.1	832.7
	入院延患者数	95,523	98,032	106,149
救急医療	全科 手術総数	9,026	9,336	9,933
	うち手術室	3,452	3,757	3,991
	救急件数	6,909	7,724	8,139
救急医療	救急車受入患者数	2,392	2,660	2,818
	三次救急相当の受入患者数	544	678	560
	ドクターヘリ受入件数 (他病院からの紹介)	40	41	80
産婦人科・ 周産期医療	分娩件数	584	498	527
	帝王切開術	113	93	121
	NICU・GCU利用実人数	81	62	115
がん医療	新生児搬送の受入件数	9	12	8
	悪性腫瘍の手術件数	388	368	438
	がんに係る化学療法への患者数	2,740	2,721	2,118
	放射線治療への患者数	199	249	222

アクセス



電車でのアクセス

上越新幹線 浦佐駅を利用した場合
 東京駅 ⇄ 浦佐駅 約1時間30分
 新潟駅 ⇄ 浦佐駅 約40分
 ※浦佐駅から徒歩 約20分
 タクシー 約5分

車でのアクセス

関越自動車道 大和スマートICを利用した場合
 練馬IC ⇄ 大和スマートIC 約2時間10分
 新潟西IC ⇄ 大和スマートIC 約1時間20分
 ※大和スマートICから車で約5分



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

一般財団法人 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院
 事務部総務課臨床研修担当
 〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132 Tel 025-777-3200(代) Fax 025-777-5067

魚沼基幹病院 検索 uonuma-kan-hospital.jp/

facebook.com/UonumaKikanHospital
 twitter.com/UonumaKikanHosp



臨床研修 医募集案内

2024年度

病院見学随時受付中

2015年医療再編により新設。
 魚沼圏域の基幹病院として、
 三次救急、高度医療を担います。

病院見学の詳細はWebサイトで
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/>



超高齢「フレイル」社会に
 活躍できるジェネラリストの育成。

- ★総合診療マインドの育み
- ★フレイル対応に不可欠な診療科を経験
- ★ER型24時間救急から慢性期までをシームレスに担当
- ★大学病院・研修病院や海外臨床の「いいとこ取り」を研修
- ★ジェネラリストに求められる基本的診療能力を効率的に習得

魚沼基幹病院は、新潟県が設置し、一般財団法人新潟県地域医療推進機構が運営する病院です。
 病院に併設される新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センターと連携し、地域医療に貢献する医療人の育成にも力を注ぎます。



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

2024 魚沼基幹病院臨床研修プログラム

研修目標

医師として必要な基本姿勢・態度を身につけるために、
 将来の専門性にかかわらず、
 日常診療で頻繁に遭遇する疾病や病態に
 適切に対応できる基本的な診療能力
 (態度、技能、知識)を修得します。

プログラムの特色

本プログラムでは、超高齢社会の先進地域で幅広く診療科を経験することで、これから全国で求められるフレイルへの対応能力も備えたジェネラリストの育成を目指します。また、本臨床研修修了後に、総合診療専門医はもちろん、内科専門医や総合診療マインドを持った各科専門医を目指す研修プログラムへスムーズに繋がれることを主眼としています。当院は、ER型外来による24時間救急対応と、各科専門医が総合診療科(総合内科)担当医と協働して救急・入院患者を受け持つのが特徴です。このような特徴を活かすため、1年次に総合診療科(総合内科)に軸足を置いた内科研修と、内科専門分野およびその他診療科の研修を経験し、2年次に救急科研修と地域医療研修を行います。これにより、ジェネラリストとして患者対応に必要な知識と技量とを効率よく身につけることができます。

魚沼基幹病院で研修を受けることの最大の魅力。それは、教育経験豊富な指導医陣による究極のOJT※にあります。新潟大学で学生や研修医を多数指導した経験を持つ医師教員が各科に配置され、県外臨床研修病院で研修・教育経験がある指導医とともに直接指導を行います。そして、海外と結んでWebカンファレンスを行うなど、大学病院、臨床研修病院や海外臨床を融合した「いいとこ取り」研修が経験できます。さらに、豊富な手術件数、出産件数で、各科ローテーションにおいても圧倒的な臨床経験が期待できるのです。

※OJT: オン・ザ・ジョブ トレーニング (on-the-job training) の略。現場で医療に従事しながら、実践的にトレーニングを行って学ぶこと。

01 推奨ローテーション



(例1)

1年目

4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
総合診療(12週)			消化器(4週)	循環器(4週)	呼吸器(4週)	腎臓病(4週)	脳神経(4週)	外科(8週)		産婦人科(4週)	小児科(4週)	精神科(4週)

2年目

4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
代謝(8週)	総合診療/内分泌		整形外科(4週)	麻酔科(4週)	救急(8週)		選択(8週)	地域医療(8週)		選択(12週)		

1) 1年目内科24~32週

(例1) 総合診療(総合内科)12週+内科20週(消化器・循環器・呼吸器・腎臓病・脳神経各4週)

2) 選択24週~32週

研修医の希望に応じて、最大で32週を選択期間を設けます。内科系、外科系、病理診断科などのサブスペシャリティ科を選択し研修します。脳神経外科と皮膚科を含めることを推奨します。また、

(例2)

1年目

4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
総合診療(12週)			内科(12週)			外科(8週)	小児科(4週)	産婦人科(4週)	精神科(4週)	整形外科(4週)	選択(4週)	

2年目

4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
代謝(8週)	総合診療/内分泌		麻酔(4週)	救急(8週)	地域医療(8週)		選択(24週)					

(例2) 総合診療(総合内科)12週+内科12週(消化器・循環器・呼吸器・腎臓病・脳神経から3科選択)

多くの疾患や患者を経験したい場合は、複数の内科サブスペシャリティを組み合わせることも可能です。例えば、内分泌・代謝内科などを同時に研修することもできます。

02 各科の研修内容

内科 (例1)原則として、内科研修は1年目に32週(研修医数により変動)行います。このうち、原則として12週(研修医数により変動)は総合診療科(総合内科)に所属することを原則とします。同科研修中は、緻密な病歴聴取や身体診察により必要十分な検査を選択し、プロブレム毎に適切なアセスメントを行い、診断およびマネジメントにつなげるという基本プロセスを繰り返し学びます。他の20週は、原則として消化器内科、循環器内科、呼吸器感染症内科、腎臓病内科、脳神経内科をそれぞれ4週ずつ研修します。この32週間の内科連続研修により、総合診療マインドを持ちながら専門診療を行う過程を習得します。また、2年目にも原則として8週間(研修医数により変動)を必修に設定し、総合診療科(総合内科)と内分泌・代謝内科との並列研修を行いながら、病歴聴取、身体診察と必要十分な検査でアセスメントとプランを引き出す「問題志向型システム」に基づいた診療スタイルを反復トレーニングします。

(例2)原則として、内科研修は1年目に24週行います。このうち、原則として12週(研修医数により変動)は総合診療科(総合内科)に所属することとします。同科研修中は、緻密な病歴聴取や身体診察により必要十分な検査を選択し、プロブレム毎に適切なアセスメントを行って、診断およびマネジメントにつなげるという基本プロセスを繰り返し学びます。他の12週は、原則として消化器内科、循環器内科、呼吸器感染症内科、腎臓病内科、脳神経内科のなかから3科を選びそれぞれ4週ずつ研修します。この24週間の内科連続研修により、総合診療マインドを持ちながら専門診療を行う過程を習得します。また、2年目にも原則として8週間(研修医数により変動)を必修に設定し、総合診療科(総合内科)と内分泌・代謝内科との並列研修を行いながら、病歴聴取、身体診察と必要十分な検査でアセスメントとプランを引き出す「問題志向型システム」に基づいた診療スタイルを反復トレーニングします。

外科 外科研修では、小手術手技の習得、実際の手術への参加、周術期管理の理解を目的としています。実際に患者を担当し、専門医の指導のもとチームで診療にあたります。上部消化管、下部消化管、肝胆膵および乳腺領域の良悪性疾患を対象とし、幅広く症例を経験できます。病棟・手術室での研修が主ですが、平日1コマ/週の外来研修を行うことで、術前・術後患者の外来マネジメントについても習得が可能です。

小児科 当院は魚沼圏域唯一の小児入院施設であり、軽症者から重症患者・専門性を要する患者まで幅広く診療にあたっています。4週間の小

児科研修では、小児の診察の仕方と基本手技、コモンディジーズの診療の習得を目標とします。研修期間中に、平日午前(1コマ/週)一般小児科外来研修を含みます。さらに希望があれば、コモンディジーズ以外の疾患を対象とした専門的な研修も可能です。

産婦人科 当院は地域周産期母子医療センターの機能を有し、早産・妊娠高血圧症候群・多胎などのハイリスク症例の分娩も取り扱っています。子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの婦人科悪性腫瘍に対しては、外科・泌尿器科・放射線治療科と連携した集学的治療を行っています。また、3D内視鏡システムを用いて、腹腔鏡下子宮体癌手術・骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨固定術を含む腹腔鏡下手術も行っています。以上のように産婦人科専門領域の幅広い研修が可能です。

精神科 当院は精神科閉鎖病棟があり、全身疾患を合併した精神疾患患者への対応を学ぶことができます。また、認知障害やアルコール使用障害を伴う患者も多く、超高齢社会におけるフレイルに関わる実践的研修を積むことができます。

整形外科 当院が立地する魚沼圏域は、スノーリゾートが多数営業しています。そのため、ウィンタースポーツ外傷の救急搬送件数が多いです。また、農業従事者が多く、公共交通機関が運行しない地域も目立つことから、農作業中の事故や転倒・転落、自家用車等による交通事故外傷も多数受診します。さらに、超高齢社会を反映した変形性関節症や大腿骨・脊椎骨折も頻繁に来院することから、年代に関係なく受傷するスポーツ外傷からフレイルに関わる整形外科ケースまで、幅広い研修が可能です。

救急科 救急研修は、12週のうち4~8週を救急科(研修医数により変動)、4週を麻酔科研修とする。ただし、救急科研修が4週の場合は、残りの4週を日直による他科との並行研修となります。当院の救急科では、救急外来(ER)で救急車の対応と、ACU(Acute Care Unit)で重症入院患者の集中治療を行っています。救急科研修では、医師として身に付けておかなければならない、重症患者の対応を数多く経験することができます。他科の医師と協力して、幅広く重症患者をみることも可能になります。

循環器 急性期および待機的な心臓カテーテル検査・治療、およびペースメーカー植込み術などを研修し、また、うっ血性心不全についても、地域医療機関と連携しながら主に急性期診療に関する

研修を行います。希望があれば、連携する立川総合病院の循環器内科、心臓血管外科および心臓血管放射線科での研修も可能です。

選択 研修医の希望に応じて、最大で40週の選択期間を設けます。ただし、このうち8週は、選択必修として総合診療科(総合内科)と内分泌・代謝内科の並列研修とします。残りの32週は、内科系、外科系、病理診断科などのサブスペシャリティ科を選択し研修します。また、多くの疾患や患者を経験したい場合は、複数の内科サブスペシャリティを組み合わせて研修することも可能です。例えば、内分泌・代謝内科と神経内科を同時に研修することもできます。

地域医療 当院は、「地域全体でひとつの病院」のコンセプトのもと、市立小出病院や南魚沼市民病院などと役割分担をすることで地域完結型医療を目指しています。当院での地域医療研修は、市立小出病院、南魚沼市民病院、ゆきぐに大和病院、小千谷総合病院で実施します。これらの医療機関はいずれも当院から自動車でも40分以内に位置しており、地域完結型医療の一端を担っている病院です。こうした病院で地域医療研修を行うことにより、「地域全体でひとつの病院」で多面的に実施されている医療を体験することができます。

一般外来 一般外来研修は当院選択内科研修中(総合診療科外来6~12コマ(3~6日相当))、外科研修中(一般外科外来研修8コマ=4日相当)、小児科研修中(一般小児科外来研修4コマ=2日相当)、および地域医療施設(一般外来、午前午後外来2コマ×2/週を8週=16日相当など)で実施します。これらを合わせて、40コマ=20日=4週相当以上の一般外来研修を行います。

当直 原則として、1ヶ月に平日当直2回と土日直2回を担当します。また、総合診療科(総合内科)、救急科産婦人科研修の際は、当該科の当直スケジュールに従います。



03 研修分野及び期間

研修/プログラムの詳細は Web サイトで。
http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page1.html



基幹型臨床研修病院

必修科目	内科24週+8週、救急12週、外科8週、小児科、産婦人科、精神科各4週 合計64週
病院で定めた必修科目	整形外科4週
選択科目	救急、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、総合診療内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、腎臓病内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、消化器外科・乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、呼吸器外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、病理診断科 合計最大で32週

協力型臨床研修病院・協力施設における研修分野及び期間

協力型病院の研修科目は、原則として研修医の希望に基づき、研修先の協力型病院との話し合いの上で決定し、研修開始後は研修医と協力型病院により調整します。それぞれの研修科目の研修期間についても、同様

に調整します。協力施設における地域医療研修については、研修開始後に決定します。各協力施設から期間別研修医受け入れ可能人数が研修医に提示され、研修医の希望と調整の上

で研修を行う協力施設を決定します。協力型相当大学病院、協力型病院・協力施設における指導医は別紙のとおりです。

新潟大学医歯学総合病院 (協力型相当大学病院)

選択：救急、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、神経内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線治療科、放射線診断科、呼吸器外科、皮膚科、形成・美容外科、小児外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科
合計4~28週

新潟県立十日町病院(協力型病院)

選択：救急、小児科、産婦人科、整形外科、内科、神経内科、外科、 合計4~28週

新潟県立燕労災病院(協力型病院)

選択：内科(総合診療科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、循環器内科)外科、救急、循環器内科、神経内科、整形外科、放射線科 合計4~28週

立川総合病院(協力型病院)

選択：循環器内科、心臓血管外科、心血管放射線科 合計4~12週

新潟県立がんセンター新潟病院(協力型病院)

選択：血液内科、形成外科、放射線科、緩和ケア内科 合計4~28週

魚沼市立小出病院(協力施設)

必修：地域医療 4~8週

南魚沼市民病院(協力施設)

必修：地域医療 4~8週

南魚沼市立ゆきぐに大和病院(協力施設)

必修：地域医療 4~8週

小千谷総合病院(協力施設)

必修：地域医療 4~8週

新潟県庁(協力施設)

選択：医療行政研修 合計4~8週

04 指導体制

1 | プログラム統括責任者

プログラム統括責任者は研修医から提出される経験録、実習記録から不足の経験などを補うよう、研修医および指導医に助言します。

2 | 指導医

各分野の認定医・専門医・指導医(臨床研修指導医講習会受講済みかつ臨床経験7年以上)の中から、各教育責任者が推薦し、研修管理委員会が認定した指導医によって4~12週にわたり指導を受けます。

3 | 当直指導医

内科系、外科系、救急科の上級医の当直医の指導を受けます。

4 | 入院患者指導医

入院患者の研修では、研修医は担当医となり主治医(指導医)と一緒に診療します。研修医は、受け持ち入院患者の退院2週間以内に入院総括を記載し指導医のチェックを受けます。

5 | 評価表の入力

研修医と指導医は、各終了時にそれぞれがEPOC2による評価を行い、評価表に入力します。研修管理委員会は速やかに評価します。

6 | レポート、経験録の提出

研修における進捗状況の記録については、オンライン卒後臨床研修評価システム(EPOC2)を用いて行います。研修医は研修開始後6ヶ月毎にそれまでの経験患者を入院総括と経験録に記載して、研修管理委員会に提出し中間評価を受けます。研修医は2年間の研修終了2ヶ月前までに入院総括と経験録を研修管理委員会に提出し、最終評価を受けます。

7 | 報告書の確認

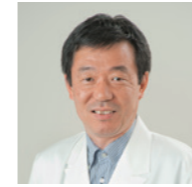
研修医は自らオーダーしたレントゲン画像や病理組織については、放射線科医や病理医の結果報告書を指導医とともに確認しチェックしなければなりません。

8 | 総合評価

臨床研修管理委員会評価委員会は研修終了2ヶ月前までに提出された入院総括、経験録、評価表の評価、検討会での患者呈示、学会・研究会への発表などを勘案して総合評価を行います。プログラム上の評価基準を満たし、入院総括の未記載と画像および病理報告書の未確認がないと認められた研修医に研修終了の判定を行います。



05 指導医

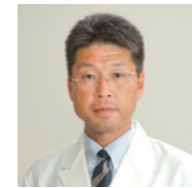


副病院長(呼吸器・感染症内科)
新潟大学地域医療教育センター長

高田 俊範

大学病院との連携で専門医取得に必要な患者さんも経験します

当院は、魚沼地域だけでなく新潟県全体の医療体制を充実する役割を担う病院です。ですからぜひ、当院での研修終了後も新潟県内で活躍してほしいと願っています。当院は新潟大学と密に連携しているため、研修終了後の学位取得もスムーズに移行できますし、各科各分野の専門医取得のために必要な患者さんも確実に経験することができます。また、このネットワークを利用して、患者さんの紹介、逆紹介、診療情報の提供、診断や治療に関する専門的な助言をいつでも受けることが可能です。こうして新潟大学医歯学総合病院に負けない質の高い診療を実施しています。魚沼という地域でキャリアアップを果たし、新潟県の医療を担うスペシャリストとして活躍してみませんか。

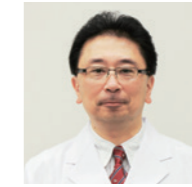


消化器外科・一般外科
部長

角南 栄二

さまざまな疾患と豊富な手術を経験することができます

当院の研修プログラムは、当科の研修ひとつをとっても食道外科から肝胆膵外科、腹腔鏡手術、乳腺に至るまでさまざまな疾患を経験できます。外科手術に参加することは、人体のなかを実際にみられるということです。これは総合診療を行う上でも必ず役に立ちます。ぜひ外科研修の経験を活かし、他の研修医には身につけられない知識と能力を得ていただきたいと思います。外科の研修期間は8週間。年間手術件数は350以上ありますから、大きな手術を目の当たりにすることができるはずです。食道外科から肝胆膵切除まで豊富な経験ができますし、ヘルニアや虫垂炎の開腹手術などは研修医の手で行っていただきます。これこそ外科での研修のメリットといえるでしょう。魚沼基幹病院は各診療科同士の意思疎通が図れているので、技術だけでなく他科とのコミュニケーション能力も磨かれます。この病院で人生を変えるような出会いが、あなたを待っているかもしれません。

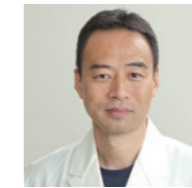


診療部長(総合診療科)
新潟大学地域医療教育センター特任教授

田中 純太

総合診療マインドを育み診療基本プロセスをしっかりと身につけます

医師臨床研修で大切なことは、正確な知識と的確な判断、そして冷静かつ確実な初期治療を行う力を身につけることに集約されます。そのためには、緻密な病歴聴取や丁寧な身体診察により必要十分な検査を選択し、プロブレム毎に適切なアセスメントを行って診断およびマネジメントにつなげる…こうした基本プロセスを、とにかく繰り返し学ぶことが重要です。魚沼基幹病院では、この基本プロセスを徹底的に身につけるとともに、総合診療マインドを持ちながら専門的な診療に取り組む過程も習得し、専門医療と連携を取りながら地域の健康マネジメントに関わることができる能力を醸成します。医師人生のスタートに相応しい、実のある2年間を過ごしませんか。



地域救命救急センター長

山口 征吾

他科との連携が多い救命救急センター、たくさんの症例を経験してください

当院の救急車搬送台数は年間2千数百台で、医療圏は約15万人です。救命救急センターとしては、ごんまりとされていますが、多彩な症例が搬送されてきます。当院の救命救急センターの役割は、救急車の対応と重症患者の集中治療管理です。脳卒中や急性心筋梗塞、多発外傷や敗血症など、たくさんの疾患があります。季節によって、その疾患も異なってきます。例えば冬の間にはスキー、スノーボード外傷や、屋根の雪下ろし転落外傷など他の地域ではあまりみられない外傷が多くあります。また、一つの科では完結しない症例が多く、他科との連携や他職種との連携が必要です。そういった連携のやり方を実際に見てもらい、研修医自らのコミュニケーション能力を向上させることができるのは、当院の魅力と考えます。他科との垣根も低い病院ですので、働きやすいと思います。当院の救命救急センターで、この症例は重症なのか、軽症なのか。今後は安定していくのか、まだまだ不安定な状況が続くのか。どのタイミングで各専門診療科に引き継ぐのがベストなのか。的確な判断ができるようにたくさんの症例を経験していきましょう。

06 研修医の1日 ~朝から当直まで~

1 | Webカンファレンス



朝8時から米国とWebで結び、研修医が担当患者さんのプレゼンテーションを行います。そして、入院患者さんの診断プロセスやマネジメントについて、ホスピタリストや指導医との間で教育的なディスカッションを行います。

2 | 救急カンファレンス

Webカンファレンスに続いて救急カンファレンスが行われます。前日に救急外来を受診し入院した患者さんの病状や治療方針について、救急科はもちろん、総合診療科（総合内科）や内科各分野、脳神経外科等の医師が集まって情報を共有します。超急性期を経た後に必要と考えられるチーム医療についても、ここで意見が交わされます。

3 | 外来診療



外来診療研修では、総合診療科（総合内科）や内科各分野、さらには小児科や外科においても、指導医の下で実際の診療を経験し、入院診療との違いを理解しながら研修を行います。

4 | 病棟回診

患者さんの朝は、担当医である研修医の回診から始まります。特に内科研修中は、Webカンファレンスを前に病棟を回診して担当患者さんの状態を把握し、米国のホスピタリストや指導医とのディスカッションを経て、診療プランを立てます。

5 | 手術

外科系診療科の研修では、研修医も診療チームの一員として手術に臨みます。研修期間における実績に応じて、基本的な処置から順次、手術手技に関する具体的な経験を積むことができます。



6 | レジデントカンファレンス



心電図や胸部レントゲン写真、さらには身体所見の取り方や診療ガイドラインなど、レジデントに必要な基本的知識や診療スキルに関するカンファレンスを定期的実施しています。また、県外から招聘した指導医によるカンファレンスや英文論文等を通して学習するジャーナルクラブも実施しています。さらに、心臓二次救命処置のトレーニングとしてICLSコースも実施しています。

7 | 臨床病理カンファレンス

魚沼基幹病院では、不幸にして亡くなられた患者さんについて、可能な限り病理解剖をお願いしています。そして、その臨床経過と病理所見について整理を行い、診療を振り返り学ばせていただく「臨床病理カンファレンス」は、年2回実施しています。

8 | 救急診療/当直



研修医の1年目では、内科、外科、産婦人科、小児科、精神科と整形外科等を回ります。そして、こうしたベースをもとに、2年目では救急科をローテーションします。もちろん、その間にも当直で救急診療を経験します。そして、内科系・外科系当直医さらには救急科指導医の指導を受けながら診療に当たります。臨床研修では、病棟や外来と並び、救急診療や当直は重要なトレーニングアイテムになっています。ここでどれだけ診療経験と学習を重ねたか、それが研修の成否を決めると言っても過言ではありません。

9 | 各種研修会・検討会



各診療科の医師やコメディカルを講師として、院内で研修医向けのセミナーを定期的開催しています。（「腹部超音波検査研修」、「心エコーによる“POCUS”研修」、「中心静脈カテーテル挿入ハンズオンセミナー」「感染対策研修」など）また当院では、魚沼圏域の医療機関から紹介のあった症例について、紹介元や地域の先生方を交えた症例検討会を月に1度開催しており、研修医も参加し診療のディスカッションを行います。



07 先輩メッセージ

先輩メッセージの詳細はWebサイトで。
<http://resident.uonuma-kikan-hospital.jp/page5.html>



基幹型研修医

野川 真登

出身地：新潟県

出身大学：熊本大学 (R3卒)

僕は内科志望だったので、各科の先生から内科専門医の時に必要な症例をたくさん紹介してもらい経験することができました。

内科学会地方会での症例発表も経験させていただきました。先生たちから優しく丁寧に教えていただいたので、外病院に行ったときに、「あ、これ基幹病院の先生から教えてもらったやつだ!」となることが多く、自分に自信がついた2年間でした。

また、医療スタッフもとても優しく、仕事の合間に談笑するのが楽しかったです。専門のスタッフから丁寧に手技や作業を覚えてもらえたので、医師だけでは学べないこともたくさん学べました。

とても働きやすい病院でした。実はもう1年、内科専攻医として働く予定です。よろしくお祈りします。

基幹型研修医

佐藤 航士

出身地：新潟県

出身大学：新潟大学 (R3卒)

魚沼基幹病院での研修で良かった点は数多くありますが、その中でも1つは日当直業務です。内科系・外科系・救急科・小児科・産婦人科の上級医のもとで診療にあたることができ、その場でフィードバックを受けながら各症例を経験することが出来るため、どの科をローテーション中でも他科の疾患をしっかりと学習出来て良かったです。

また、当院は豊かな自然に囲まれた豪雪地域にあり、非常に良いスキー場が数多くあります。冬のスキー・スノボは勿論、春～秋は山登りや釣り、ツーリングなど様々なアウトドアの趣味を楽しむことができとてもリフレッシュになります。スキー外傷など地域特有の症例も数多く経験することが出来ます。是非一度見学にいらしてください。

基幹型研修医

南 達元

出身地：中国

出身大学：中国上海交通大学医学院 大学院 (H9卒)

私自身は今まで全く違った環境での新たなチャレンジであり、終始うまく行かないことが多かったですが、上級医の指導のもとで多くの経験を積み、大きく成長することができました。

当院の研修で一番助かったのは各科の指導医が充実していることと、研修中に疑問に思ったことを気兼ねなく質問できる雰囲気にあります。

それと夜間当直中も常に指導医とともに診療にあたるので、安心できたことです。

基幹型研修医

平高 明音

出身地：神奈川県

出身大学：千葉大学 (H31卒)

当院の研修の魅力を挙げればきりがありませんが、ここでは3つ紹介します。

- 研修中に経験すべき症例や手技を繰り返し経験できる
- 担当医としてだけでなく、主治医や執刀医として患者さんに主体的に関わることができる
- 小児から高齢者まで、豪雪地帯ならではの外傷も含めて魚沼圏域の幅広い症例を経験できる

私自身、はじめはうまく行かないことも多かったですが、上級医の指導のもとで多くの経験を積み、大きく成長することができました。

指導医の先生も多く、どの科を志望していたとしても充実した2年間になることは間違いありません。

宿舎も病院の隣にあり、研修に集中できる環境です。まずはぜひ一度見学に来てみてください。

見学医学生アンケート

【**県外：男性**】希望する条件を満たす部分が多い。特にウインタースポーツ外傷を経験できる点や、他院から地理的に隔離されている点が魅力的である。病院の規模に対する人員数、患者数が適度で個々の患者さんとしっかり向き合える環境だと感じた。周辺環境も乗用車なしで生活できる程度には整っており、特に問題を感じなかった。

【**県外：男性**】先輩方の雰囲気がとても優しくしてもらえた。手技ややりたいことがあればなんでもやらせてくれて成長できる環境だと思った。

【**県外：男性**】スタッフの方々、研修医の方々が親切であると感じました。研修医が経験できることが非常に多いと感じました。

【**県外：男性**】魚沼地区唯一の三次機関として多彩な症例を経験できると感じた。

【**県外：男性**】志望する科がそろっておりプログラムが充実していると感じた。

【**県内：女性**】救急科では指導医の先生がいろんな場所に連れていってくださり、救急医と他科の連携がとれているのを実感でき、働いてみたいと思いました。

Q 魚沼基幹病院の印象をお聞かせください

【**県外：男性**】大規模病院ではないのに3次救急とICUまでケアしている所や総合診療や整形の先生方の勢いが自分は好きでした。

【**県外：女性**】貴院ほどアットホームで指導熱心な病院はなかなか無いと見学を通じて感じました。手厚い指導の下、研修医の先生方が様々な手技を経験されている様子を見て、医師としての実力を培うのに素晴らしい環境だと思いました。

【**県内：女性**】新幹線の駅やドラッグストアなどが近く、思ったよりも不便ではなさそうと感じた。職員用の保育園や宿舎があるところにも魅力を感じます。医療についても、診療科を超えた連携や手術室には最新の設備があり、かなり魅力的だった。

【**県外：女性**】多くの診療科が連携し、地域の最先端の医療を担っていると感じました。明るく優しい雰囲気、医師の方ももちろんのこと、看護師など多くの人に教えていただきました。今後のモチベーションになりました。短い間でしたが本当にありがとうございました。

【**県内：男性**】指導力の高い先生方や、充実した施設があり魅力を感じました。とてもきれいな病院で清潔感があってよかった。

【**県外：男性**】軽症～重症まで経験でき、医局の雰囲気が良かった。充実した研修ができそうだと感じました。ありがとうございました。

08 募集要項

募集要項の詳細はWebサイトで。
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page6.html>



募集要項

募集人員：1年次生 8名
募集方法：公募(日本医師臨床研修マッチングシステムに基づく)
選考方法：面接および書類選考
募集締切日：令和5年8月31日 ※選考は希望者の相談に応じて随時実施します。
申込方法：まずは下記申込先へご連絡ください。当院指定申込書を郵送又は持参のこと。
 (申込書はホームページからダウンロードできます)
申込先：魚沼基幹病院 事務部総務課臨床研修担当
 TEL.025-777-3200 FAX.025-777-2811 E-Mail ukb-kenshu@ncmi.or.jp

研修医の待遇

身分：常勤医師として雇用(臨床研修医)
給与：[1年次]
 基本給：360,000円、当直手当：21,000円/回、
 時間外勤務手当：当院規定により支給、
 月額計：528,000円程度(時間外勤務45時間の場合) ※上記以外に、各種手当あり
 [2年次]
 基本給：390,000円、当直手当：21,000円/回、
 時間外勤務手当：当院規定により支給、
 月額計：568,000円程度(時間外勤務45時間の場合) ※上記以外に、各種手当あり

勤務時間及び休暇：8:30～17:30(休憩時間12:00～13:00)
 年次有給休暇(1年次：10日、2年次：11日+繰越分)
 夏季休暇(有給、5日/年)
 ※上記以外に、忌引休暇、私傷病休暇等各種休暇あり
時間外勤務及び当直：あり(当直は研修計画Iの12参照。)
社会保険・労働保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険適用あり
健康管理：定期健康診断年1回、そのほか勤務実態に応じて夜勤者健診等あり
医師賠償責任保険：病院加入有り、個人加入任意
外部研修活動への補助：学会・研究会等に係る参加費、旅費補助あり(上限141,000円/年)
研修プログラムに定められていない病院等での診療の可否：不可
 (一般財団法人新潟県地域医療推進機構職員就業規則による)

その他

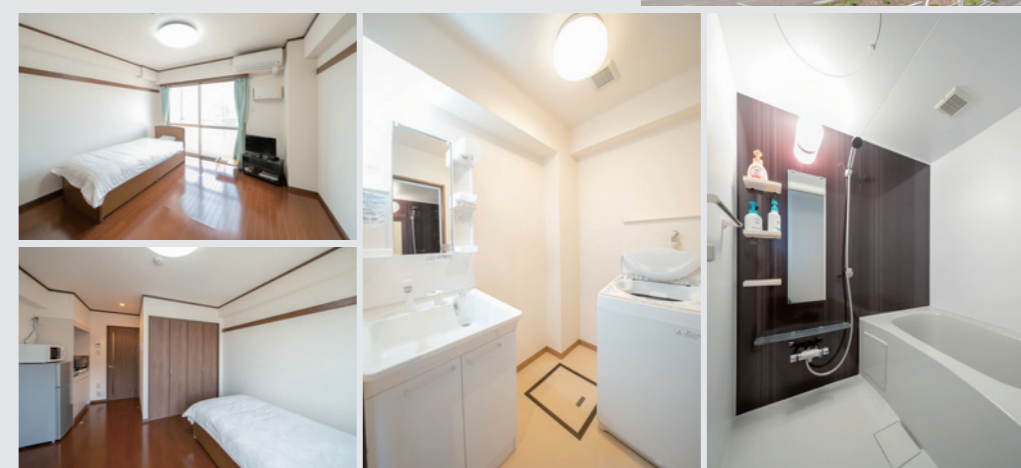
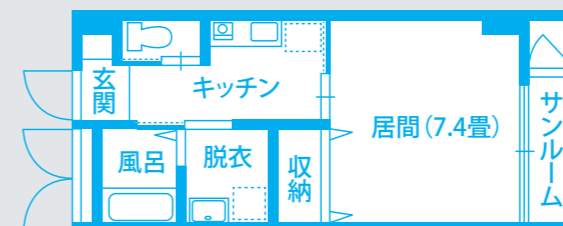
- 院内に研修医専用の居室あり(持ち込みPC等によるインターネット利用可)、図書室あり
- 平日毎朝開催している救急・総合診療合同検討会に原則参加
- 各診療科においても専門検討会を定期的に開催
- 臨床研修管理委員会を、年1回以上開催します。また、必要に応じてプログラム運営管理小委員会を開催し、研修医の到達状況に関する情報交換をします。
- 研修期間中のアルバイトを禁止しています。



研修医専用の居室

宿 舎

病院隣接地の研修医宿舎(1K又はDK。単身用30戸/家具付き)を使用可能(Wi-Fi完備)。
 使用料：居室/無料
 駐車場：月額5,000円



SNAPSHOT



09 地域情報

ここは、コシヒカリのおいしい地域！



浦佐周辺のオススメスポット



近くに大きな公園



病院からも近い「八色の森公園」は、越後三山(八海山、駒ヶ岳、中の岳)を望む絶景です。

おいしいお店！



ワインレストラン「葡萄の花」
おいしいワインと地元で獲れた新鮮な食材を使ったメニューで人気です。

登山・トレッキング



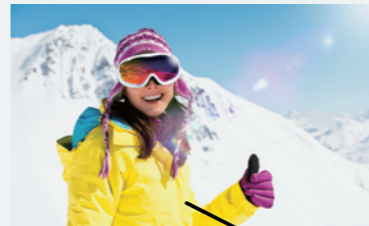
アウトドアファンに最適！

2007年8月に20年ぶりに新設された29番目の国立公園「尾瀬」は、日帰りコースも充実しています。また、越後三山と称される越後駒ヶ岳・八海山・中ノ岳をはじめ、日本百名山に数えられる平ヶ岳、巻機山、谷川岳、苗場山など、山登りが好きな人には制覇したい山々が近くにあります。



尾瀬沼でトレッキング！

スキー・スノーボード



スノボファンに人気！



人気湯沢スキー場！

魚沼エリアは、年間約350万人のスキー・スノボを楽しむ人たちが集まる一大スキーリゾートエリア。南魚沼地域に22、魚沼地域に6か所のスキー場が点在しています。魚沼基幹病院では、周辺スキー場の1日リフト券が無料・割引になる福利厚生制度を用意しています。

温泉



温泉好きに最高！

魚沼エリアは、年間50万人以上の宿泊客が訪れる越後湯沢温泉をはじめ、六日町温泉郷、湯之谷温泉郷のほか、「日本秘湯を守る会」に登録されている貝掛温泉や栃尾又温泉など、個性豊かな温泉があります。日帰り温泉もたくさんあるので、休日の温泉巡りも楽しみです。



南魚沼は温泉天国！

地域交流

魚沼基幹病院は、積極的に地域活動やお祭りに参加しています。

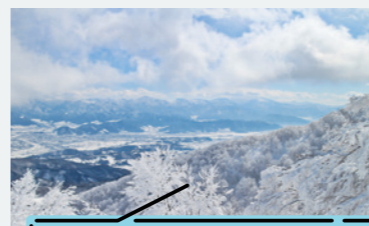


毎年「裸押し合い大祭」に参加、応援団も入れると50名以上が参加します。地元浦佐の一員としてがんばります！

南魚沼の一大イベントとしてすっかり定着したグルメマラソンにおよそ60名が参加し、総勢5,000名超のランナーと走ります。

毎年UKB(魚沼基幹病院)米収穫に向けた田植えが行われます。秋には稲刈り、収穫祭が計画されています。

冬の浦佐



美しい雪景色



浦佐は豪雪地域です。一晩で1mも雪が降ることもありますが除雪対策がしっかりしているから道路の雪で動けなくなることはありません。もちろん高速道路も除雪が早いので、安心して暮らせます。歩道も除雪するので人が歩くのも安心です。